

# 2025年2月24日例会 結城市 梅寺と結城百景



QRコード





# 梅寺と結城百選 詳細



A

A

結城諏訪神社

梅寺(東持寺)

川の一里塚

鹿窪運動公園

伝統工芸館

乗国寺

文化センター アクロス

結城駅

結城城址公園

結城小学校

観光駐車場



# 結城紬

市町村シリーズ  
2024

## 世界に誇る 高級絹織物

ふるさとの  
宝

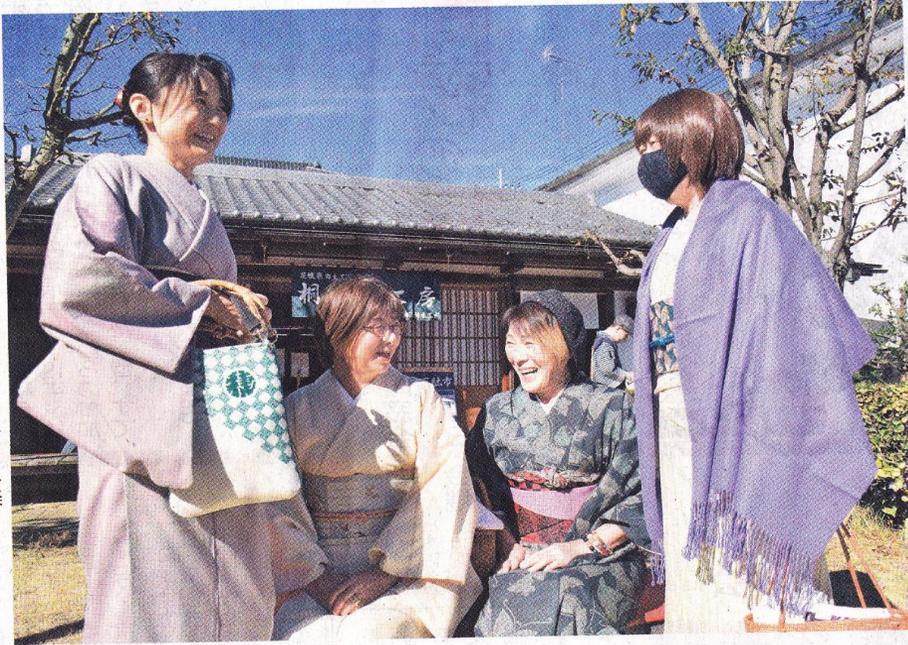
### 結城紬

結城市の特産「結城紬」の歴史は古く、世界に誇る高級絹織物として広く知られる。

上品な色合いで軽くて暖かい。その上、丈夫なため、親、子、孫と受け継がれ、「結城三代」と言

われる。着込むほどに風合いが増すことも魅力だ。

奈良時代、常陸国が朝廷に献上した絹粗布の「絶」が原点とされる。室町時代の頃には結城紬と呼ばれるようになり、幕府などに献



結城紬の着物や帽子などコーディネートを楽しむ「day結城」の参加者＝結城市

上。江戸時代の百科事典「和漢三才図会」には最上品の紬として紹介されている。

制作工程は約40に上る。全て手作業で行われ、繭を広げて真綿にして、使う糸を全て手でつむぐと、世界でも類を見ない方法で作られる。より合わせない無撚糸は繊維の間に空気が入り、ふわりと暖かな着心地を生む。1反(約13m)を織るのに、約34mの手つむぎ糸が必要という。

地機と呼ばれる織機を使う。縦糸を腰でつり、体全体を使って糸の張り具合を調節しながら、横糸を打ち込む。1反を織るのに数カ月から半年かかるという。

つむぎた「糸つむぎ」「紬くむり」「地機織り」の3工程が1956年、国の重要無形文化財に指定。2010年には、ユネスコ無形文化遺産に登録された。

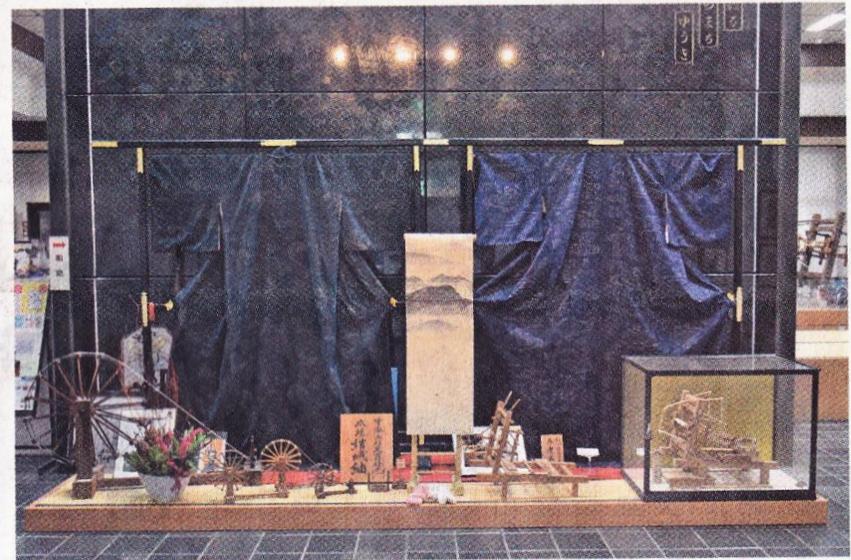
1970年代には問屋を舞台にしたNHK朝のドラマ「鳩子の海」効果でブームに。その後、着物離れ、技術者の高齢化などにより、生産量は減少するが、新たな技法の開発、小物など新商品づくり、販路拡大も進む。

魅力を広く知ってもらおうと、着物姿でまちを歩くイベント「day結城」が毎年秋に開かれる。今年、結城紬を着て初めて参加した同市の大熊悦子さん(53)は「思っていたより楽で動きやすい」と笑顔で話した。

多くの工程で一人一人が思いを込め、出来上がる結城紬。市観光協会の初見寿秋会長は「肌触りや風合いは他の着物にない。結城紬を愛してほしい」と呼びかける。

# 結城市伝統工芸館 (コミュニティーセンター)

## 結城市伝統工芸館 (結城市結城)



結城紬の制作工程を学び、体験できる結城市伝統工芸館＝同市結城

まちの

隠れ家

結城市伝統工芸館（結城市結城）は、結城紬の歴史や制作工程を学べる観光施設だ。館内で職人が地機織りの工程を実演しており、反物を織る様子を間近で見ることができるともある。

制作工程を体験することも可能。地機を使ったコースター作り、糸つむぎなどに挑戦できる。授業の一環で小学生が体験に訪れることもある。

反物や帯、結城紬の生地で作ったワンピース、ネクタイ、ストラップなど、さまざまな製品を展示してい

## 職人が実演、体験も

入り口付近には、結城市と結城紬の歴史を解説したパネルのほか、結城紬に関連した木版画や絵画などを掲示している。木版画は版画家の富張広司氏らが制作して寄贈したもので、結城紬の制作工程が表現されている。

制作工程を解説する一角では、手つむぎ糸の原材料となる真綿や繭について紹介。1反を作るのに必要とされる繭玉約2200個を積み上げて展示する。

デザインの図案、糸に目印を付けるための墨やヘラなども紹介され、職人が実際に使う道具を見ながら一連の制作工程について学ぶことができる。